

新學院新聞

発行所
宇都宮市一の沢1-1-41
作 新 學 院
編 集
文 章 編 集 会

平成二十八年度作新学院卒業式日程
△三月一日(水)高等学校(総合体育館)
△三月九日(木)中等部(小・中体育館)
△三月十三日(月)小学部(小・中体育館)
△三月十二日(日)幼稚園(ブレイルーム)

Page 1

卒業生の皆さん、ご卒業
めでとうございます。皆

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがこれから入っていく日本社会は、他国に例を見ない超高齢化・少子化社会です。当然人口減少を伴いますが、どの国にも前例やお手本はありません。日本が先頭を走る未知の世界でかつての日本は一人の老年寄りを五、六人の現役世代が支えてきました。しかし今や一人のお年寄りに対して、三三人、やがては二人のこととも重要です。



現役世代で支えなければなりません。この年金制度も今まで継続してしまいますから、持ちさせる工夫が必要です。医療や福祉政策も、改必要です。

また人口の減少は日本の縮小を招きます。豊かさが維持できなく恐れがあります。これ避けるためには、経済を勇敢に進めなければなりません。さらには元気を働いてもらうことや、皆さんが社会の担い手として、しっかりと働いても

私はいま社会の場で、若い皆さん方が社会の構成員としてきちんと役割を担つていただきため、「若年成人の育成教育に関する特命委員会」の座長として、幾つかの政策を提言・実行しようといたします。既に実現したものとしては、選挙権年齢を十八歳以上に引き上げることでした。学校における「主権者教育」はまだ始まつたばかりです。一方で昨年は文科省にお願いして急いで副教材を作成し、全国の高校に配布しましたが、まだ十分に使いこなしていないことは言い難い状況です。主権者教育の一層の充実を図らなければなりません。もう一つ重要なことは、

選挙権年齢に合わせて「大人の年齢」も十八歳からにしてこの二つの年齢を揃えることは至極当然のことなのですが、大人になればその責任も急に重くなります。例えば社会人として一人で契約が出来る一方、意に反する契約を親の権限で取り消すことが出来なくなります。悪質な契約につかまる若者が増えるのではないかと、弁護士会や消費者団体からは不安の声が聞かれます。消費者教育の充実が急務です。

さらに難しいのは少年法によつて保護される年齢の引き下げです。現在は二十歳未満の少年は、大人とは

運う裁きを受けることとなつておられ、処罰よりも少く年の保護・更生に主眼を置いていた扱いをしていました。これを十八歳まで引き下げるなどについても弁護士会などは懸念を示していました。

以上述べてきたことは制度上の大人の年齢を引き下げるための政策でしたが、しかし本当に重要なことは若い皆さん自身が、大人として積極的に社会と関わることで社会を支えて行こうという意識の改革なのではないでしょうか。皆さんの今後の活躍を、大いに期待しております。

栄光の「人間力」で未来を拓く

理事長
船田
惠

第206号

創立から百三十年の歴史を越えた今年度は、作新によって、栄光の一周年となりました。卒業生の萩野公介選手がリオ五輪で金、銀、銅3つのメダルを獲得、結果として甲子園では硬式野球部が



卒業を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。また、ここまで成長を支えて来られた保護者の皆様方も心からお慶び申し上げます。

創立から百三十年の歴史を越えた今年度は、作新によって“栄光”的一年となりました。卒業生の萩野公介選手がリオ五輪で金、銀銅3つのメダルを獲得、続

「リオで金、甲子園でも金」を実現させて下さった、多くの皆様の温かなご支援、ご声援にあらためて御礼申しあげます。

原動力、それは本学が歴史とともに培ってきた「人間力」でありました。そしてその核を為すのが、「信念」「執念」「信頼」の3本柱です。

頂点を極めたい、自分の限界を超え、これまでの常識を打ち破りたい：それの大いなる夢と理想に

よつて築かれた確固たる「信念」。それは、絶対に負けない、「どんなことがあつても諦めない」という勝利への「執念」とあいまつて、たゆまぬ努力のエンジンとなり、多くの試練に打ち勝つ強靭さとなつて、夢を現実へと近づけます。

それでも人間は一瞬たりとも一人では生きていけないもの。本当に追い込まれ行き詰った時、支えて下さる方の有り難さを実感し、信じ合うことの強さを知り

「頼み」という最強のカードを手に入れ、より大きく、より豊かに成長し、頂点へと上り詰めることができました。作新が正しいと信じ直しに実践し続けてきた「人間力」教育。それが今夏、金メダルや優勝旗というカタチになつて結実したことにより、どんなに時代が移り変わろうとも「人間力」の大切さは変わらないという自信と勇気を、私たちがあらためて得ることができました。その一方で、今年度は、熊本大地震など天災に見舞われ、海外でも英国のEU離脱決定や米国でのトランプ大統領の選出など、将来にいきます。

大きな波乱と渾沌をもたらす大事件が相次ぎました。自分さえ良ければ、今までえられればといふ利己的な考え方や、他者を差別し侮蔑する品性を欠いた行為が、大衆から支持を受け社会の主流になり、良識や民主主義による秩序を崩壊させてゆく昨今。

ただこうした時代だからこそ、作新の「人間力」が正しく豊かな未来を拓くためには必須なのだと確信しています。「作新民」の活躍こそが世界を救うという希望を胸に、旅立つ途端概と誇りを胸に、旅立つ途端

創立から百三十年の歴史を越えた今年度は、作新にとって、栄光の一年になりました。卒業生の萩野公介選手がリオ五輪で金、銀銅3つのメダルを獲得、續く甲子園では硬式野球部が

力がありました。そして
その核を為すのが、「信念」
「執念」、「信頼」の3本柱です。
頂点を極めたい、自分の
限界を超える、これまでの常識
を打ち破りたい：それ
ぞれの大いなる夢と理想に

行き詰った時、支えて下さる方の有り難さを実感し、信じ合うことの強さを知ります。

と勇気を、私たちにはあらためて得ることができました。その一方で今年度は、熊本大地震など天災に見舞われ、海外でも英国のEU離脱決定や米国でのトランプ大統領の選出など、将来にいたしました。正しく豊かな未来を拓くためには必須なのだと確信しています。「作新民」の活躍を期待します。

日本社会の大切な構成員として

学院長
船田元

「作新民。」その“人間力”で“夢”は現実のものとなる

作新民。その“人間力”で世界を変える、未来をつくる人材の育成を目指してきました。平成28年度はその人間力が一気に開花し、「リオで金、甲子園でも金！」という夢を実現することができました。これからも私たちの歩みが止まることはあります。

作新ecoプロジェクト ~社会に貢献する力~

真に豊かな未来を切り拓いてゆくため、一つのキャンバスに集う幼稚園児から高校生、学院すべての力を結集し、地球環境保護に向けた活動を行っています。

チーム・テレサ

自分たちの環境を、心と身体を使って守ってゆくボランティア系チーム。

- 足尾を緑にする植樹活動
- ペットボトルキャップ回収活動～もうすぐ800万個～

チーム・ガリオ

科学技術の力で、破壊されてしまった環境を蘇らせ保護する実験発明系チーム。

- 足尾鉱山廃水クリーンプロジェクト
- エコ発電プロジェクト

チーム・コロンブス

国境を越え、世界の子どもたちと地球環境保護に取り組む国際交流系チーム。

- フェア・トレードによるアフリカ支援活動
- さくら女子中学校～タンザニア教育支援～



オール作新の復興支援

～東日本大震災～

(平成23年3月)



震災5年目となる復興支援活動

私たち作新学院では、震災直後から「オール作新」として、生徒・保護者・教職員など学院関係者のすべての「作新力」を結集し、東北の被災地への復興支援活動を展開しています。広島・熊本と相次ぐ自然災害で被災された方々にも寄り添い、私たち一人ひとりに「今」何ができるのかを考え、今後も支援活動を続けていきます。

門脇中学校(石巻市)への訪問はすでに4年目。笑顔の交流となりました。

万石浦幼稚園(石巻市)へ義援金とともにクリスマスの壁紙を届けました。

～熊本地震復興支援～

(平成28年4月)



「オール作新」による街頭募金活動

熊本県阿蘇村の学生寮で被災した、本校の卒業生成田ひかりさんも参加して復興支援の呼びかけを行いました。

気仙沼小学校(気仙沼市)とは、毎年手作りのカレンダーを送りあっています。



幼稚園 フェルトとゴムを使ってお弁当バンドを作り、かもめ幼稚園のお友達に送りました。

小学部 白(健康)、黄(安全)、黄緑(友情)、オレンジ(希望)。色に願いを込めたミサンガを送りました。

中等部 メッセージ入り団扇と魔除けの意味を持つすず玉に、熊本の人々の健康と、復興の願いを込めました。

高等学校 復興の思いを込め、くまもんの布でボケットティッシュケースを作り、メッセージを添えました。

SSH から SSAへ ~受け継がれる探究する力~

平成23年度から5年間にわたり、文部科学省からSSHの指定を受けて先進的な理数教育を実践してきました。その実績と探究する精神を受け継ぎ、これからもSSAとして国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。

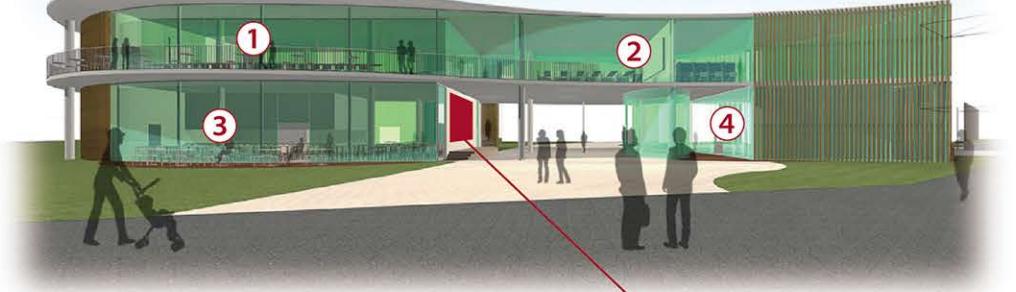


Super Science Highschool

Sakushin Science Academy

作新アカデミア・ラボ誕生 ~超える、つなぐ、変える~

学院のみに関わらず、年齢やジャンルを“超えて”さまざまな人々がアイデアを出し合い、社会や地域と“つながる”ことで、世の中を“変えて”ゆくことを願って動き出したアカデミア・ラボ。この“知と生命の実験場”から、世界の変化に対応した人材を輩出していくことを目指します。



①スタディ・ラボ 真の知性と教養の習得を目的とし、本学の教育方針「自学自習」を体現するラボ。グループワークや個人まで、多目的用途に適した機能性あふれる机や椅子を用意し、学習者のニーズに幅広く応えます。柔らかく自由な発想や創造力を生み出すベースとなります。

②ランゲージ・ラボ 最新のICT機器を備え、高速大容量のネット環境を整備した語学研修ラボ。視聴覚をフルに刺激することで、英語をはじめとした“生きた”コミュニケーション能力としての語学学習を実現するとともに、多彩なアクティブラーニングが可能となります。

③ダイニング・ラボ 豊かな“生命”と“暮らし”的創造を目的としたラボ。昼食時は栄養バランスのとれたランチを提供し、授業では食育についての講義などで活用します。また、学院を訪問された方々のくつろぎと語らいのスペースになります。

④コンビニエンス・ラボ 生徒と企業とのコラボ商品や、作新のマスク「さくじゅう」のキャラクター商品などを販売するラボ。制服をはじめとした学院の指定用品も購入することのできる、ヤマザキY SHOPがオープンします。

アカデミア・ラボ完成記念 フォトモザイクアート



完成記念事業として、学院内で募集した写真を組み合わせて巨大フォトモザイク壁画を描きました。

人間力の結実 ~萩野公介選手リオで金獲得~



幼少期から天才スイマーの名を欲しいままにしてきた萩野選手は、在学中高校3年時にロンドンオリンピックで銅メダルを獲得。世界的トップを目指していましたが、その後の世界選手権で結果を残すことができずにいました。重圧を抱え込み本来の力が出しきれない苦悩に追いつき打撃をかけるように、フランス合宿中右ひじ骨折のアクシデントが彼を襲います。彼を復活させたのは、恩師平井伯昌コーチの言葉とライバル瀬戸大也選手の存在でした。そして、自己の弱さを克服した“人間力”がリオでの金メダルへと繋がったのです。全てのレースを終えた後、彼は「一人じゃないことを身に染みて感じた」と語ります。日本競泳界のエースは、「世界の萩野」と飛翔してゆきます。



在校生の活躍 ~作新の星たち 誰もが輝く力~



甲子園優勝 硬式野球部
第98回 全国高校野球選手権大会 優勝
下野新聞KIZUNA大賞受賞・選抜高校野球大会出場決定



優勝 ボクシング 黒柳 潤
第70回 全国高等学校総合体育大会 優勝
アジアユース大会ウェルター級 銅メダル



優勝 パワーリフティング(女子)
第34回 全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 小塚 美穂(写真右) 57kg級 優勝
増田 有香(写真中) 57kg級 4位 福島 涼子(写真左) 72kg級 優勝



合格 パレエ 田野井 大登
「未来のエトワールたち」のオーディション合格
ユースアメリカグランプリ 2016 短期留学権利獲得



世界1位 スラックライン 須藤 美青
GLOBETROTTER WORLD SLACKLINE MASTERS 大会
トリックライン一般女子部門 個人総合第1位



書道 久武 志登
第40回全国学生書写道展 席書部の部 文部科学大臣賞



自転車競技 岡本 一城
平成28年度 全国高等学校総合体育大会自転車競技会
石井 茂徳(写真左) ケイリン第5位 女子
小口 加奈絵(写真右) スクラッチ 第6位 女子

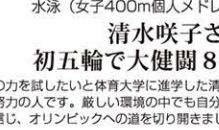


受賞 岡本 一城
小学部3年
第57回動物愛護の作文コンテスト
小学生の部『環境大臣賞』
題名「動物への感謝」

卒業生の活躍 ~世界へはばたく作新力~



ボルダリング 楠崎智亜さん
世界選手権大会優勝
水泳(女子400m個人メドレー) 清水咲子さん
初五輪で大健闘 8位
ボルダリング競技において世界の頂点を極めました。2020年東京オリンピック金メダル期待の星です。



自分の力を試したいと体育大学に進学した清水選手は努力の人です。厳しい環境の中でも自分の成長を信じ、オリンピックへの道を切り開きました。

SSH から SSAへ ~受け継がれる探究する力~

平成23年度から5年間にわたり、文部科学省からSSHの指定を受けて先進的な理数教育を実践してきました。その実績と探究する精神を受け継ぎ、これからもSSAとして国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。



Super Science Highschool

Sakushin Science Academy

